

聖心女子大学 グローバル共生ワークショップ



聖心女子大学グローバル共生研究所が運営する展示・ワークショップスペースBE*hive（ビーハイブ）では、「気候変動」をテーマにした展示と、学びをより深めていただくためのさまざまなワークショップをご用意しています。展示を見るだけでは得られない気づきや発見を、ワークショップの専門家が引き出します。総合学習や訪問学習、修学旅行、その他グループ学習などの一環としてぜひご活用ください。

プログラムのご案内

プログラムの具体的な内容・時間・人数など、ご要望に応じて調整いたしますので、まずはご相談ください。

	テーマ	内容
A	気候変動 (基礎編)	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動の現状と原因をクイズ形式で学びます。 異常気象や高潮、海面上昇、干ばつなどによって生活が脅かされている人びとのエピソードを読んで理解を深め、自分たちの生活とのつながりを考え、身近な問題として捉え直します。 初めて気候変動について学ぶ方、また興味・関心を深めたい方におすすめです。
B	スポーツの祭典 と気候変動	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動の現状と原因をクイズ形式で学びます。 私たちの生活に身近なパーム油をめぐる環境問題や人権問題について、写真を使って対話をしながら学びます。 展示見学では、東京2020オリンピック・パラリンピックが気候変動に与える影響と持続可能性について学びます。様々な立場や視点から、気候変動問題の解決に向けてできることを考えます。
C	ファッションと 気候変動	<ul style="list-style-type: none"> 私たちが普段着ている服がどこでどのように作られているのかをクイズ形式で学びます。 服づくりに関わる人々の状況を知り、服の適正価格や服づくりを支える労働者の人権問題について考えます。 展示見学では、ファッションと二酸化炭素の排出量や気候変動との関連性について学びます。
D	日本にいる 難民	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の難民問題の現状とその背景をクイズ形式で学びます。 日本に住む難民のエピソードを読んで、日本での暮らしや難民認定制度について理解を深めます。 <p>※このプログラムは、2017年9月～2019年3月の展示テーマ「難民・避難民」をもとに作られました。 展示テーマ「気候変動」と異なりますが、学習テーマとして「難民」を希望される場合はこちらをお選びください。</p>

※BE*hiveにおけるワークショップの企画・運営は、聖心女子大学グローバル共生研究所と認定NPO法人開発教育協会（DEAR）が共同で行っています。



対象・所要時間など

- 対象者・人数 原則として、高校生以上～一般、30名程度まで
- 所要時間 ご希望に応じて、30分～90分程度まで
- 費用 無料（実施希望日の1か月前までに事前予約が必要）

参加者・申込者の感想

「気候変動に関して、いかに自分が無関心で他人事だったかを痛感した。まだ遠い未来だと思っていた危機がすぐそこまで来ている」（大学生／参加者）

「展示を観るだけでなくワークショップに活用することで更なる学びにつなげることができた。」（一般／参加者）

申し込み/問い合わせ先

お問い合わせいただく際は「グローバル共生ワークショップの件」での問い合わせであることをお伝えください。なお、お申し込みをいただく際は、裏面「ワークショップ申込書」をご記入の上、メールもしくはFAXでお申し込みください。

- 住所 東京都渋谷区広尾4-2-24 聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ
- TEL 03-3407-5811（代表）（4号館内線：104） ■FAX 03-3407-5805
- Email be-hive@g.u-sacred-heart.ac.jp